FAXニュース
ŌMIYA
JR東労組大宮地本
2020年3月27日
No. 163

大地申第12号

「2020年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ団体交渉開催！
【宇都宮運転所分会】 その２

【議論要旨・特徴的な項目のみ】２０２０年２月２１日開催
【宇都宮運転所分会】

８．度重なる速度種別の設定誤りについて、発生に至る経過と今後の対策を明らかにすること。

◆会社回答：勉強会等の再発防止策を講じ、関係通達の訂正等必要な対策を実施したところである。

会社：大変申し訳ない。現場で運転士が発見してくれた。対応に感謝している。
２０１９年度は相鉄線直通のため年に２回の改正となった。通常、改正作業は次年度になってから今の現行のダイヤを作業用にコピーして次のダイ改用に使用する。今回は、秋の改正があるためコピーの作業を早め、３月改正前に改正後のものをコピーした。その後に、誤りがありダイレクト訂正を行ったが、現行面の訂正だった。その為、作業していたものは訂正を行わずに進めてしまった。チェック体制が出来ていなかった。

以下対策

①計画者向けに勉強会を実施。事象、チェック側へは体制の勉強。
②チェックリストの見直し。正直な意見として分かりづらいという意見があり、全面見直しする。
③通常とイレギュラーのダイ改、チェックする時期がきたら見える化して情報共有できるように。

組合：同事象を起こさない体制、３つの対策がしっかり行える対策を行うことを強く求める！
会社：了解。また現場とのコミュニケーションも足りなかったことも反省点である。
二度と起こさないように緊張感持ってやっていく。意見要望を把握してより良いダイ改にする。

９．女性社員の職域拡大に伴い、乗務員の宿泊設備が不足することが予想されるため十分な設備を整えること。

◆会社回答：設備の整備等については、今後も必要に応じて検討していく考えである。

会社：本区の寝室は６部屋整備し使用開始している。女性設備の拡充については今後も検討していく。
組合：小山車両センターは３部屋しかない。日光駅も少ない。
会社：言われる通り、小山車両センター・日光駅は少ない。乗泊の拡大は引き続き検討していく。
組合：配属後に設備整備は順序がおかしい。
会社：基本路線は配属前に設備整備だ。
組合：現実は配属後の設備整備になっていることが多い。

１１．Ｅ５３１系の出区点検と黒磯駅までの回送運転を担当することから、ワンマン運転機器などの教育・訓練をしっかり行うこと。

◆会社回答：必要な訓練は実施していく考えである。

会社：実際にはすでに始まっている。２月１２日から３月１日まで現車訓練やっていると聞いている。
組合：訓練はすべてが確定してから行って欲しい。
会社：乗務する前にはということ、そして乗務開始後も可能な限り出来るように。区所には未受講者の確認を行っていく。

１３．１０１行路において指導員の技量維持などの導入経過から、乗務線区を統一せず柔軟な運用を行うこと。さらに、出勤時間は育児・介護制度活用者の利用を想定した設定とすること。

◆会社回答：短時間行路については、多様な働き方と効率性を実現する目的で設定したところである。

会社：育児・介護勤務Ａはいない。乗務線区は統一していない。南方面にすると長くなり日勤と同じくらいになってしまうので活用しづらいと考えている。今回は日光・黒磯１本ずつ。出勤も８：５０くらいに落としていく。平休合わせて設定していく。
組合：女性乗務員が配属されている。育児・介護制度活用時には柔軟な設定をしていただきたい。
南方面から通勤している乗務員にとっては、朝子供を預けての通勤に無理がある。
会社：通勤状況はしっかり把握していく。大宮ー宇都宮も新幹線通勤も可能である。

以上

速度種別誤りについて支社より具体的対策を明らかにさせました！